

ニュージーランド準備銀行は中立的政策姿勢を維持

- ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は政策金利を据え置き、中立的な政策姿勢を維持する方針を表明。
- 10-12月期の実質GDPは市場予想を下回る。RBNZは「景気減速は一時的」とし、前向きな経済成長見通しを示す。
- 2017年初以降、乳製品価格は緩やかな下落傾向に転じる。2月以降は為替相場も緩やかなNZドル安が進む。
- 足元では乳製品価格に下げ止まりの兆しがみられ、国内経済が底堅さを取り戻せば、NZドル相場の下支え要因に。

NZ準備銀行は政策金利の据え置きを決定

ニュージーランド準備銀行(RBNZ)は3月23日の政策決定理事会において、大方の市場予想通り、政策金利を1.75%で据え置く決定を下しました(図1)。

ウィーラー総裁は先行きの金融政策について、主に海外市場の不透明感に対して政策対応を実施する可能性に言及しつつ、「相当な期間にわたって緩和的な金融政策を継続する」と現状の中立的な政策姿勢を維持する方針を示しました。

10-12月期に小幅減速したニュージーランド経済

ニュージーランドの2016年10-12月期の実質GDPは前期比+0.4%(前年比+2.7%)と市場予想(前期比+0.7%、前年比+3.2%)を下回りました(図2)。10-12月期はサービス業や建設業は底堅さを維持したものの、農林業や製造業の低迷が経済成長の抑制要因となりました。

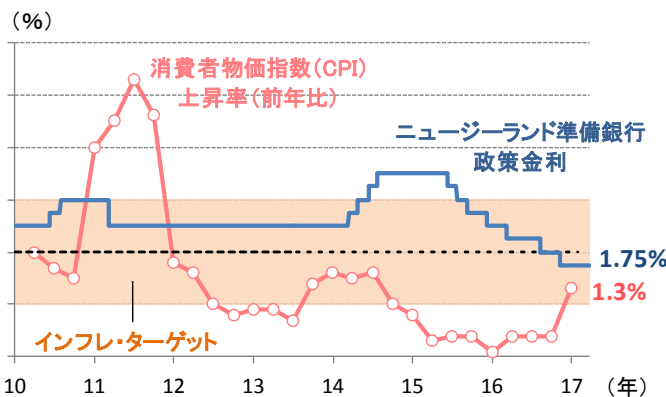
RBNZの景気判断は、10-12月期の景気減速は一時的要因によるものであり、緩和的な金融政策や人口増加、堅調な個人消費や建設活動などに支えられ、ニュージーランド経済の成長見通しは引き続き前向きとの見方が示されました。

乳製品価格の下落から緩やかなNZドル安が進む

ニュージーランドの主要輸出品目である乳製品価格は、2017年初以降、緩やかな下落傾向にあります(図3)。乳製品価格の下落や海外との金利差縮小などの影響から、NZドル相場は2月以降、NZドル安が進んでおり、RBNZは「(国内経済の安定化にとって)望ましい動き」としています。

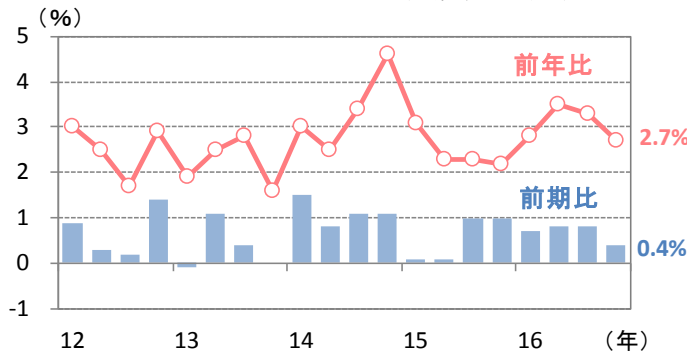
もともと、足元では乳製品価格に下げ止まりの兆しがみられる上に、今後、RBNZの緩和的な金融政策によって国内経済が底堅さを取り戻せば、NZドル相場の下支え要因となると期待されます。

図1:ニュージーランドの政策金利とインフレ率



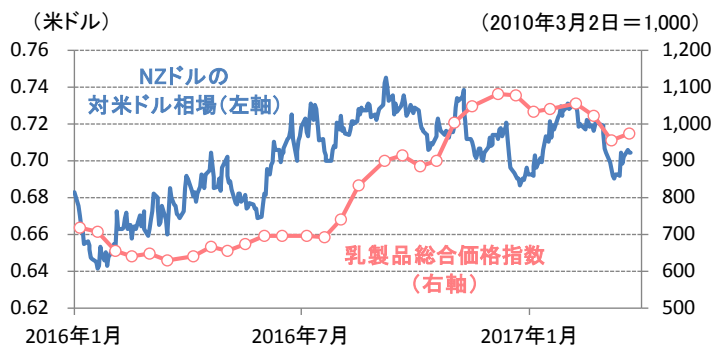
(出所)ニュージーランド準備銀行(RBNZ)、ニュージーランド統計局
(期間)政策金利:2010年1月1日~2017年3月23日
CPI:2010年1-3月~2016年10-12月

図2:ニュージーランドの実質GDP成長率



(出所)ニュージーランド統計局 (期間)2012年1Q~2016年4Q

図3:NZドル相場と乳製品価格



(出所)ブルームバーグ、Global Dairy Trade
(期間)2016年1月1日~2017年3月22日

●当資料は、説明資料としてレグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したものです。その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている見解、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、証券の売買の勧誘を目的としたものではありません。